

番号	15	令和3年度公共事業再評価調書		担当課名 砂防課		
事業名	地すべり対策事業		事業主体	静岡県		
箇所名	タイラノ 平野		市町名	浜松市		
事業採択年度	平成29年度		計画期間	平成29年度～令和5年度		
用地着手年度	令和2年度		工事着手年度	令和2年度		
再評価理由	事業採択(H29)後5年間が経過した時点で継続中					
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～R1年度	R2年度	R3年度見込	計
	200		47	50	19	116
事業概要	<p>(1) 事業目的 平野地区は浜松市天竜区に位置し、保全対象に人家9戸や主要地方道袋井春野線（緊急輸送路）及び一級河川不動川を含む地すべり防止区域である。 市道等への亀裂の変状が確認されていることから、地すべり発生原因となる土塊中の地下水低下を図る横ボーリング工等の防止施設を整備し、住民の生命を守るものである。</p> <p>(2) 事業内容 横ボーリング工L=2,760m</p>					
事業の必要性	<p>【視点1】</p> <p>(1) 事業を巡る社会情勢等の変化 近年、局地化、集中化した豪雨が頻発し、甚大な土砂災害が多く発生しており、令和2年度県政世論調査では台風や地震などの自然災害に対する不安の声もあった。 浜松市においても、平成29年度からこれまでに、36件の土砂災害が発生している。 当該地区では、地すべりの影響により、人家や県道等に被害が及ぶことが懸念されるため、地すべり防止施設を整備する必要がある。</p> <p>(2) 事業の投資効果 費用対効果 B/C : 5.1 経済的内部収益率 (EIRR) : 16.6 総便益 : 934百万円 (直接被害 : 家屋、道路、人的被害(逸失利益) 間接被害 : 人的被害(精神的損害)) 総費用 : 186百万円 (建設費、維持管理費)</p> <p>(3) 事業の進捗状況 (令和3年度末見込み) 【事業費】 58.0% (116百万円/200百万円) 【事業量】 39.1% (1,080m/2,760m) 【用地取得】 39.1%</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
今後の事業の進捗の見込み	<p>【視点2】</p> <p>保全対象の9世帯にアンケートを実施したところ、全世帯が「事業を継続する必要性を感じる」と回答しており、事業に対する地元住民からの要望は強い。 用地取得は令和4年度に完了する見込みで、地元調整は円滑に行われていることから、工事を計画的に推進し、令和5年度の完了が見込まれる。</p> <p>評価 <input checked="" type="radio"/> 継続が妥当 ・ 視点3による見直し後継続が妥当 ・ 継続は妥当ではない</p>					
新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>【視点3】</p> <p>設計時には横ボーリング工を効果的な位置に配置することで、工事費を最小限に抑えている。 今後、工事を進める上で、新技術・新工法の採用を検討し、コスト縮減に努める。</p>					
対応方針案	<p>(1) 対応方針案 本事業を ( <input checked="" type="radio"/> 継続 ) ・ 中止 ) する。</p> <p>(2) 理由 本事業は、地すべりによる被害を未然に防止するものである。費用対効果も見込まれ、人家や県道（緊急輸送路）の保全など安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続する。</p>					

## 費用便益費算出説明書

### 「平野」地すべり

(「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル(案)」国土交通省 水管理・国土保全局)

#### 総括表

総便益B	[事業を実施しない場合の被害額]－[事業を実施した場合の被害額]	1046百万円
総費用C	[建設費]+[評価期間内に必要な維持管理費]	202百万円
B/C		5.1

#### 総便益

[地すべり対策事業を実施しない場合の被害額]－[地すべり対策事業を実施した場合の被害額]  
年平均被害軽減期待額を評価対象期間60年(整備期間10年+耐用期間50年)について累計する。  
ただし、年平均被害軽減期待額は算出基準年(令和3年)に基づくデフレーター及び社会的割引率  
(年4.0%)で現在価値化したものとする。

$$\begin{aligned} \text{便益計} &= \sum \text{年平均被害軽減期待額} / (1+0.04)^n \\ &= 1046 \text{百万円} \end{aligned}$$

※年平均被害軽減期待額:地すべり防止区域内で毎年発生する補修費(地すべり直接被害区域内資産の1%と、  
地すべり発生の生起確率(1/50)を被害軽減額に乗じた合計。

※整備期間中の被害軽減額は、事業費に比例して発生するものとする。

#### 総費用

[建設費]－[評価期間内に必要な維持管理費]

各年次の建設費と維持管理費(建設費の1%)を評価対象期間60年(整備期間10年+耐用期間50年)  
について累計する。

ただし、各年次の建設費及び維持管理費は算出基準年(令和2年)に基づくデフレーター及び  
社会的割引率(年4.0%)で現在価値化したものとする。

$$\begin{aligned} \text{費用計} &= \sum \text{年間建設費} / (1+0.04)^n + \sum \text{年間維持管理費} / (1+0.04)^n \\ &= 202 \text{百万円} \end{aligned}$$

※整備期間中の維持管理費は、投入済建設費に対して発生するものとする。

# 位置図

静岡県 浜松市天竜区春野町堀之内



地すべり被害保全対象

【人家・公共施設】  
人家9戸  
(主)袋井春野線

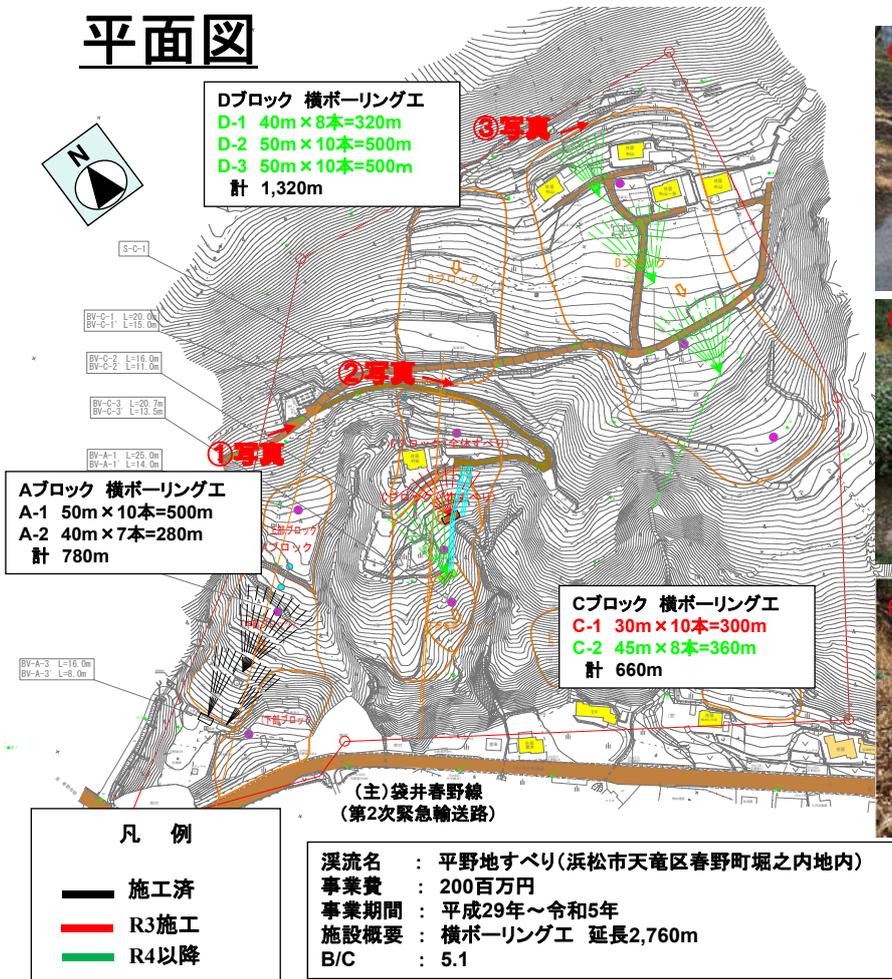
【河川】  
一級河川不動川

# 事業概要

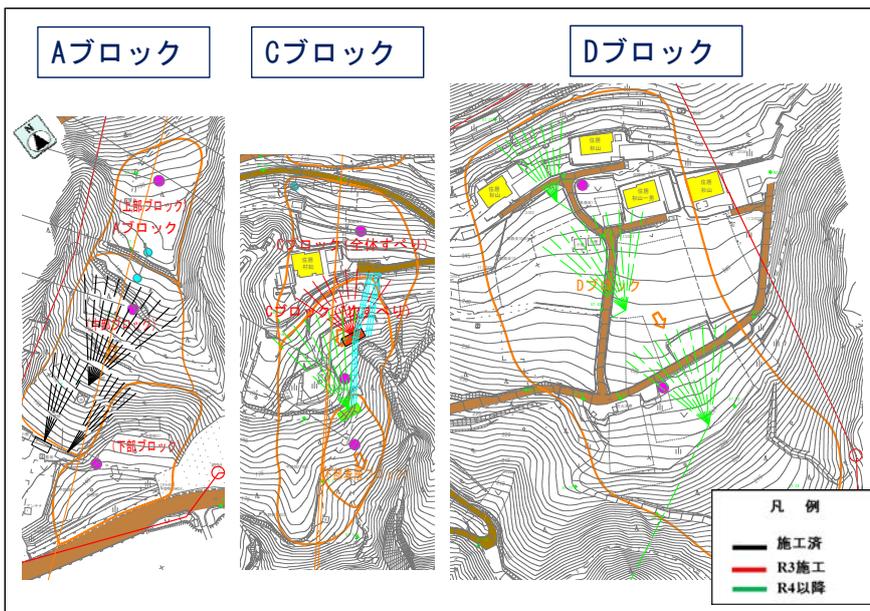
## 前回からの変更点・理由

	前回 (H28)	今回 (R3)	主な変更理由
①計画期間	H29～R5	H29～R5	・変更なし
②全体事業費	200百万円	200百万円	・変更なし

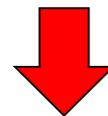
# 平面図



## 今後の対策方針 (A, C, Dブロック)



総便益	1,046百万円
総費用	202百万円
費用便益費 (B/C)	5.1



施設整備を進捗させ、  
 人家9戸の保全を図る

### 今後の方針

#### 【Aブロック】

- H30~H31 地質調査、計器観測
- R1 詳細設計、計器観測
- R2 横ボーリング工、計器観測
- R3 計器観測 →概成判断

#### 【Cブロック】

- H29~R1 地質調査、計器観測
- R2 詳細設計、計器観測
- R3~R4 横ボーリング工、計器観測
- R5 計器観測 →概成判断

#### 【Dブロック】

- R1~R3 地質調査、計器観測
- R3 詳細設計、計器観測
- R4 横ボーリング工、計器観測
- R5 計器観測 →概成判断